

少雨に対する農作物技術対策

平成28年6月6日
農政部経営技術課

平成28年6月3日宇都宮地方気象台発表の「少雨に関する栃木県気象情報第1号」によると、「栃木県では、5月中旬頃から降水量の少ない状態が続いています。この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。農作物や水の管理等に十分に注意してください。」とある。

そこで、今後も降水量が少なく農作物に影響がでるような場合には、以下の対策を実施し、少雨による被害防止に努める。

I 普通作物

1 水稲

(1) 育苗管理

育苗日数の延長が予想されるので、苗の徒長・老化を防止するため次の対策を行う。

ア 苗へのかん水は極力控える。

イ 育苗ハウスの場合は昼夜とも換気を徹底する。外に並べている場合はできるだけ通気をよくする。

ウ 播種後25～30日を過ぎると肥切れしてくるので、窒素成分で箱当たり0.5～1.0gを追肥する。

エ 育苗期間が長引くと苗いもちが発生しやすいので、登録農薬を散布する。

オ 苗が多少伸びても、がっちりした苗質（移植・湛水後水面に苗が垂れないような）で移植作業に支障がないと想定される場合は、剪葉は行わない。

カ 苗が軟弱徒長し（苗丈が23cmを超える）、移植作業に支障をきたす（苗がブリッジ状に移植される）場合は、以下に注意し剪葉を行う。また、剪葉により、数日老化を防ぐことができる。

◇ カット部位は、第2葉の中央部、地面から15～18cm程度で行う。

◇ 切れる刃物で行い、葉先を箱内に残さない。

◇ 活着促進のため窒素成分で箱当たり0.5～1.0gの追肥を行う。

◇ 苗いもちが発生しやすくなるので、登録農薬を散布する。

(2) 代かき、田植えについて

ア 用水管理者や地域で協議し、水系毎に番水方式等を行うなど計画的に水利調整を行い、代かき、田植え作業を行う。

イ 代かき前にはほ場内に通水用の溝を作り、短時間に水が回るようにする。また、もぐら穴などによる畦畔からの漏水を防ぐ。

ウ 代かきは1行程多く行い、水もちをよくする。

エ 移植後は日中止水、夜間かん水により節水に努める。

(3) 生育中期の本田対策

ア 用水管理者や地域で協議し、水系毎に番水方式等を行うなど計画的に水利調整を行う。

イ もぐら穴などによる畦畔からの漏水を防ぐ。

2 陸稲

(1) かん水施設のあるほ場では、生育の状況を見て十分にかん水を行う。

II 野菜

1 全般

- (1) かん水できるほ場では、積極的にかん水を行う。
- (2) 苗を定植する場合は、定植4～5日前からかん水を控え、苗を硬く育て、定植前に十分かん水を行う。定植は夕方に行い、可能な限り株元にかん水を行う（特にセル成型苗はかん水を行う）。
- (3) 育苗での栽培が可能な野菜は、直播は行わず、育苗栽培にする。
- (4) 生育中の野菜で、空気の乾燥や日中の強い日射で、萎れ症状や成長点付近の葉が小型化する場合は、遮光資材の活用により生育の回復を図る。
- (5) アザミウマ類やアブラムシ類、ハダニ類の発生が多くなりやすいので、発生状況を見極め、適切な登録薬剤で防除する。

2 いちご

- (1) 露地育苗では、積極的にかん水を行う。
- (2) ハダニ類が多発しやすいので、発生初期に登録農薬を散布する。

III 果樹

1 共通

- (1) 干ばつの影響を受けやすいほ場では、スプリンクラー等によるかん水を行う。かん水施設のないほ場では、スピードスプレーヤや薬剤散布用のタンクを活用して、かん水を行う。
- (2) 草生栽培ほ場では、水分競合を避けるため、こまめに草刈りを行う。

2 ぶどう

- (1) 結実後、果粒肥大期に入っても干ばつが続く場合は、果粒肥大に影響を及ぼすため、積極的にかん水を行う。

IV 花き

1 露地ぎく

- (1) 日中葉が萎れる状態になると生育（草丈）に影響があるので、かん水を行う。
- (2) かん水を行う場合は、地温が低下した早朝や夕方に終えるようにする。（地温が高いときのかん水は避ける）
- (3) 追肥は1回の量を少なくし、根を傷めないように注意する。
- (4) ハダニ類が多発しやすいので、発生初期に登録農薬を散布する。

【参考】

「少雨に関する栃木県気象情報第1号」 6月3日宇都宮地方気象台発表

（本文）

栃木県では、5月中旬頃から、高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量の少ない状態が続いています。

5月11日から昨日（6月2日）までの各地の降水量は、平年の50パーセント未満と平年を大きく下回っているところがあります。

今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込み

です。

農作物や水の管理等に十分に注意してください。

降水量（5月11日から6月2日まで）（速報値）
（気象官署及び特別地域気象観測所）

| | 降水量（ミリ） | 平年比（％） |
|-----|---------|--------|
| 宇都宮 | 50.5 | 44 |
| 日光 | 41.0 | 30 |

降水量（5月11日から6月2日まで）（速報値）
（アメダス）

| | 降水量（ミリ） | 平年比（％） |
|------|---------|--------|
| 那須高原 | 48.0 | 36 |
| 五十里 | 23.0 | 25 |
| 黒磯 | 32.5 | 30 |
| 土呂部 | 25.0 | 28 |
| 大田原 | 35.5 | 35 |
| 今市 | 35.5 | 28 |
| 塩谷 | 37.0 | 33 |
| 那須烏山 | 54.0 | ／／ |
| 鹿沼 | 38.0 | 32 |
| 真岡 | 64.5 | 63 |
| 佐野 | 48.5 | 52 |
| 小山 | 52.5 | 53 |
| 足尾 | 36.0 | 31 |
| 高根沢 | 51.0 | 48 |
| 葛生 | 45.5 | 42 |
| 足利 | 44.0 | 49 |
| 栃木 | 64.0 | 60 |

（記号の説明）

／／：期間の不足等の理由により、統計値がありません。